

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	厚木高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に 대응するため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、質実剛健の校風のもと、豊かな人間性と公正な判断力を有する自主的で責任感の強い、人と積極的にかかわることができるたくましい人材の育成をめざして、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の実践など様々な教育活動に取り組んできたが、今後は、これからの時代に求められる資質・能力を踏まえ、より深く広い学びの在り方を追究した不断の授業改善を進める等、生徒自らが考察する力を高めるよう、教育活動の充実に取り組む。さらに、SSHの取組成果を広く普及・啓発する。

また、平成30年度以降、学力向上進学重点校として、生徒の進路希望の実現をより一層めざすとともに、学習支援及び進路支援などにおける県立高校の牽引役としての取組の一層の推進を図る。

2 学校教育目標

- 日本国民として、また国際社会でリーダーとして活躍できる広い教養を与える。
- 社会生活に深い理解を有し、尊敬と協力を惜しまぬ心豊かな人間性を養うことに努める。
- 正確な知識と健全な判断力を有する、自主的で責任感の強い人間性を養うことに努める。
- 個性を尊重し、その充分な伸長を期するとともに、将来の志望に応じた適切な指導に努める。
- 保健衛生に留意し、健康にして明朗な生徒として積極的な活動をさせる。

3 計画策定時点での課題

- 創立からまもなく120年を迎える本校は、県央の雄として地域からの期待も大きい。学力向上進学重点校の指定も受け、高い学力を持ち学習意欲の高い数多くの生徒が入学している。部活動や学校行事にも意欲的に取り組む生徒のニーズに応え、さらには特に優れた能力を有する生徒の力を伸長させる教育が必要である。
- 課題発見解決能力のさらなる向上と特に優れた生徒の育成に向けた探究活動を円滑に進める学習環境を整備し、理数教育を核に社会の様々な分野で活躍できる能力の育成を図る。また、県立高校の牽引役としての責務を果たし、進学実績を向上させる必要がある。
- 家庭だけでなく地域全体からの期待に応えようとするあまり、精神的な重荷を負ってしまう生徒もいる。こうした生徒を早期に発見し、個に応じた特別支援プログラムを速やかに実施する等、できるだけ早期に対応する体制の強化が必要である。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学びをとおした科学的リテラシーの育成、グローバル教育の研究、思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業研究と進学実績を導き出せる教育課程の研究を行う。 ・主体的に学ぶ態度の育成をとおして生徒の一人ひとりのキャリア形成に必要な自己決定力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「ヴェリタス(探究活動型学校設定科目)」の指導結果の検証、全ての教科で探究的な学習活動を取り入れた授業の実践。 ③高い進学実績を導き出す教育課程の編成と実績の検証。 ④理解の深化を促進させる効果的なICTの利活用。 ⑤生徒の実践的英語能力向上と各種検定・コンテストへの参加指導と参加人数の検証。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自らを律し、また、全体のために行動しようとする態度を育成する。 ・学業と課外活動等との両立を図り心身ともに健康でバランスの取れた学校生活に向けた組織的な支援体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の主体的な活動を促す機会の設定。生徒への支援体制。 ②コア会議、特別支援プログラムの実施。教育相談体制の確立。支援効果の検証。いじめ防止委員会などによる組織的な支援体制の実践とその検証。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びから進路決定に結びつける進路指導の実現と各種模擬試験等の分析結果を活用し、生徒が設定した進路の実現に向けて、最後まで諦めさせずに維持させ、高い進路実績を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路実績の向上に向けた学習課題等の提供や補習の実施。 ②自主的な学習の支援と3年間を見据えた体系的な進路指導。 ③進路実績、卒業生講話、模試等のデータ活用した、効果的な進路指導。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育活動を広く地域に公開・発信し、開かれた学校づくりを推進する。 ・地域や学校間と連携した教育活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページや学校説明会等を活用した生徒の活動や実践の紹介の回数とその内容。 ②地域の小・中学校、大学、県内他高校や研究機関等と連携した事業の内容、実施実績。 ③生徒の地域防災等、地域活動の取組実績、生徒の参加人数。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼にねざした学校づくりにむけ、事故防止の取組みを推進するとともに学校全体の企画調整機能を強化し、経営課題を横断的かつ組織的に検討し、教育活動の展開・拡充させる。 ・教職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの調和を目指した働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①日常的な校内研修や事故防止に向けた取組の実施状況。開かれた学校づくりに向けた様々な情報発信に係る取組実績。 ②企画会議、グループ会議の連携、人材育成の機会提供等組織力を高める取組の実践。 ②業務の効率化の推進、教職員の休暇取得率の向上を図る職場の環境づくり